

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
1	投票用紙分類機等購入事業	①(目的)選挙投開票時の人員削減及び開票時間の短縮を図るため、投票用紙分類機等を導入する (効果)投票用紙分類機等を導入することで、投開票所内の密を避け、投票用紙への接触を減らすことで、新型コロナウイルス感染防止対策に繋がる ②備品購入費 ③地方公共団体	R3.6	R4.3	7,628,500	7,628,500	・投票用紙分類機×1台:4,680,500円 ・投票用紙自動交付機×10台:2,948,000円	分類機及び自動交付機の導入により、選挙投開票時の事務従事者間の密を解消し、投票用紙への接触機会を減らすことで、新型コロナウイルス感染リスクを軽減することができた。
2	議事録作成支援システム整備事業	①職員の議事録作成の時間を短縮し、新型コロナ対応等に伴う業務の時間を確保することを目的に、音声認識による議事録作成システムを導入する 導入することにより、従来ICレコーダーの音声から文字興していたものを、AI機能を持ったシステムで自動で文字化すること可能となり、本業務時間が短縮される ②議事録作成システムの導入経費に充当する ③地方公共団体	R3.6	R4.1	7,909,000	7,909,000	・議事録作成システム構築費一式:6,677,000円 ・マイクシステム導入費:382,067円×3セット+設定費85,800円=1,232,000円	本システムを導入したことで、各会議の議事録作成の労力が軽減され、結果、感染対策も含めた他業務の時間が確保された。
3	新阿蘇安心安全メールシステム事業	①感染症等緊急時の情報発信力の充実を図り速やかに正確な情報発信を行うことで緊急時に強い地域づくりと防災・防犯対策の強化につなげることを目的とする ②システム使用料 ③地方公共団体	R3.7	R4.3	594,000	594,000	・システム使用料:594,000円 (内訳) 阿蘇安全メール148,500円 阿蘇市職員メール148,500円 学校用メール297,000円	新型コロナ感染症等緊急時の情報発信力の充実を図り速やかに正確な情報発信を行うことで緊急時に強い地域づくりと防災・防犯対策の強化につながった。
4	阿蘇市新型コロナワクチン接種移動困難者支援事業	①(目的)新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種に際し、接種者が高齢等であって、接種会場への移動が困難である場合にタクシーによる移動を支援する。 (効果)ワクチン接種機会を拡大する。 ②接種会場までのタクシー料金(接種2回×往復分) ※4,000円を上限 ③介護認定者及び障害者、移動困難者を対象(在宅の方)	R3.4	R4.3	459,520	230,520	・タクシー運賃 1,000円×457回=457,000円 630円×4回=2,520円	接種会場への移動困難な高齢者に、タクシーによる移動支援をおこなうことで、コロナワクチン接種促進につながった。
5	複合健診実施時の新型コロナウイルス感染拡大防止	①複合健診実施時の密集を避けるために、受診者待合室の確保を行い、感染拡大防止に繋げる ②単棟ハウスリース料 ③単棟ハウスリース料(2棟×2ヶ月間) 合計697千円 ④地方公共団体(複合健診受診者の3密対策)	R3.6	R3.11	623,920	623,920	・単棟ハウス委託料(夏複合健診) 308,990円 ・単棟ハウス委託料(秋複合健診) 314,930円	狭い健診会場の待合い場所として単棟ハウスを配置したことにより、密集を避けることができ、感染防止につながった。
6	阿蘇市地域振興緊急対策事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している消費活動と地域経済の循環を促進させる ②プレミアム付き商品券の発行 ③交付対象者:全市民	R3.9	R4.3	43,363,776	43,363,776	・阿蘇市プレミアム付商品券事業の支援補助金:43,363,776円	商品券事業を実施により新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市民の生活支援、及び市内での消費拡大による事業者支援に寄与することができた
7	営業時間短縮要請協力金市負担金	①新型コロナウイルス感染拡大防止に係る飲食店への営業時間短縮要請に伴う協力金を交付し、感染拡大防止につなげる ②営業時間短縮協力金(1割負担) ③交付対象者:152事業者	R3.5	R4.3	31,989,000	31,989,000	・営業時間短縮協力金(1割負担) 319,890,000×10%=31,989,000円	感染リスクが高まる夜間における会食の機会や人流を抑制することにより感染拡大防止に寄与するとともに、要請に協力したことより経済的影響を受けた飲食店の事業継続を支援した。

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
8	公共施設コロナウイルス対策事業	①観光客等を受け入れる公共施設において、コロナ渦に対応した営業形態の導入やトイレの非接触による衛生管理の徹底を図り、観光地のイメージアップと集客増に繋げる ②公共施設のコロナ対策に係る衛生機器導入及び非接触に係る施設改修費用並びに指定管理者が行う衛生対策に係る設備投資への補助 ④-1 公共施設衛生対策工事 対象施設:物産施設、温泉施設 ④-2 公共施設コロナウイルス対策衛生機器 対象:物産施設、温泉施設 ④-3 指定管理施設コロナ対策補助金 対象:物産施設	R3.9	R4.3	13,774,000	6,887,000	・公共施設トイレ衛生対策工事(洗面自動水栓改修39台) 4,774,000円 ・オゾン除菌・脱臭器3台×192,500=577,500円 ・オートディスペンサー25台×25,498円=637,450円 ・顔認証型サーマルカメラ3台×204,600円=613,800円 ・オゾン除菌・脱臭器4台×192,500円=770,000円 ・ミストガン10台×38,500円=385,000円 ・ミストガン1台×16,250円=16,250円 ・阿蘇市指定管理施設新型コロナウイルス対策補助金(2施設) 6,000,000円	公共施設に手洗いや自動水栓化をはじめ備品の導入等を行い、新型コロナウイルス感染予防対策の環境が整備された。
9	屋外イベント用備品購入事業	①屋内の観光イベントをなるべく屋外への開催とし、三密を避けるよう配慮したものに転換していく必要がある。このため各種イベント開催に必要な備品類を購入し、ニーズに合った受入れ環境を整備することを目的とする。 ②備品購入費(2,547,600円) ③地方公共団体(各種イベントで使用)	R3.7	R3.9	2,547,600	2,547,600	・折りたたみ式テーブル×10台:198,000円 ・折りたたみ式椅子×40脚:330,000円 ・ステージ×1台:1,210,000円 ・テント×2張:391,600円 ・自動検温器×2台:418,000円	設備投資を行うことで、屋外イベントへの誘導や密集を回避できたことで、新型コロナウイルス感染症の感染予防につながった。
10	平日誘客促進キャンペーン事業	①新型コロナウイルス感染症の影響から三密回避を絡めた誘客施策として、土日祝日前に集中する宿泊客から平日利用の宿泊客を誘客するとともに、市内における夜の飲食店の活気を取り戻すことを目的とする。 ②宿泊施設利用者が購入できる外食券の割引補助 ③阿蘇温泉観光旅館協同組合	R3.8	R5.3	18,217,219	18,217,219	・平日誘客促進キャンペーン事業補助金:18,217,219円	夜間営業の飲食店への消費行動を促すことにより、経済的影響を受けた飲食店の事業継続を支援した。また、飲食券の利用を平日に限定したことにより、夜間における会食の機会の分散を図ることができ、感染拡大防止に寄与することができた。
11	団体旅行感染症対策支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により利用が著しく減少している団体旅行について、団体を受け入れる観光施設、団体、レストラン等において、感染症対策を講じるための支援を行い、団体旅行者にも安心・安全な環境づくりを提供し、団体旅行の回復を図ることを目的とする ②団体を受け入れることのできる観光施設、アクティビティ実践団体、昼食レストラン等への感染症対策を講じるための経費 補助率 3/4 上限300,000円/1団体 ③50名以上が受け入れ可能な施設(団体)等	R3.7	R4.1	1,797,000	899,000	・感染症対策補助×7施設=1,797,000円	団体旅行を受入れる観光施設が実践するコロナ感染防止対策や前向きな設備投資等を支援し、宿泊客の受入環境を整備できた。
12	教育旅行の事前・事後学習サポート推進事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響から全国的に教育旅行が低迷している中、収束後を視野に入れ、従来の教育旅行を誘致していくため、阿蘇での教育旅行の特徴を整理したオリエンテーション用のデータを作成し、教育旅行における事前・事後学習に活用してもらうことや、オンラインによる学習サポート、営業活動などを実施し、修学旅行、大学生のインターンシップ、企業研修などを誘致していくもの。さらには、農業体験の場づくりなど、同時に受入れ環境づくりや季節に応じたコンテンツ造成などにも取り組み経済浮揚につなげることを目的とする ②委託料:教育旅行に関するオリエンテーション用データ作成。専門家や地元の先生などからの監修を受けた阿蘇の特徴を整理。季節に応じたコンテンツ造成。熊本地震震災ミュージアムとの連携を意識した受入れ体制の構築等 ③地方公共団体(全国の学校や企業を対象)	R3.7	R3.11	3,727,356	1,864,356	・委託料:3,727,356円 (教育旅行の誘致を目的とした事前・事後学習サポート体制の構築)	新型コロナウイルス感染症収束後を視野に入れ、教育旅行を誘致するため、阿蘇での教育旅行の特徴を整理したオリエンテーション用のデータ作成や、営業活動などを実施し、修学旅行、大学生のインターンシップ、企業研修などの誘致に繋がった。

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
13	森の体験交流施設トイレ改善事業	①新型コロナウイルス感染症防止対策として、三密を回避した屋外での活動が盛んになることが想定される。このため、屋外活動をメインとする森の体験交流施設への利用者が見込まれる。このことから、衛生面に欠ける便器類を改善し、快適で安心・安全な環境を整える。 ②工事請負費一式 ④森の体験交流施設(波野高原やすらぎ交流館)	R3.7	R3.9	990,000	990,000	・トイレ改善工事:990,000円	施設内におけるコロナ対策を充実させ、利用者にとって安全・安心な施設を提供することができた。
14	阿蘇市公的宿泊施設休業要請協力金交付事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市からの休業要請に協力した事業者に対し協力金を交付するとともに、施設再開後に向けた感染防止対策をおこなうことを目的とする。 ②協力金(補助金) ③市の公的宿泊施設を管理する事業者	R3.6	R3.7	900,000	900,000	・休業要請協力金 300,000円×3施設:900,000円	新型コロナウイルス感染症の対策により休業要請をおこなった公的宿泊施設に対し、管理運営に必要な経費及び感染対策防止策に係る費用を支援することで、公の施設としての機能を維持し、利用者に安全・安心な施設を提供することができた。
15	補習等のための支援員配置事業	①新型コロナ感染症対策による児童生徒の学力保障対応 ②学習支援員の追加配置 ③全児童生徒	R3.4	R4.3	777,607	777,607	・報酬(月額) a 1,716,310円 b 1,178,193円 c 1,117,797円 ・報酬(期末) a 335,607円 b 122,800円 c 124,900円 報酬合計 4,595,607円 補助金(1,909千円)、市一般財源(1,909千円)合計 3,818千円 交付対象経費 4,595,607円-3,818,000円 =777,607円	学習支援員を配置したことにより、教員と連携し児童生徒の学力保障が行えた。
16	公立学校情報機器整備費補助金	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①新型コロナウイルス感染症対策としてICT環境整備の初期対応が円滑に行える。 ②GIGAスクールサポーター委託料(2分の1補助) ③公立学校	R3.7	R4.3	2,398,000	1,199,000	委託料:2,398,000円	GIGAスクールサポーターの配置により、コロナ禍による臨時休業や分散登校・授業に際しても、学校でのオンライン学習等に必要な安定したICT環境を提供することができ、児童生徒の学びの保障を行うことができた。
17	スクールバス密集軽減事業	①新型コロナ感染症対策のためスクールバス内の密集軽減 ②スクールバス1台増(計16台により運行) ③全児童生徒	R3.4	R3.6	380,616	380,616	委託料:380,616円	市立学校のスクールバスを増便したことにより、乗車率を抑え、密を回避することができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減することができた。

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
18	成人式ライブ配信・ビデオメッセージ作成事業	①令和4年阿蘇市成人式において、新型コロナウイルス感染症の状況により、やむを得ず来場できない新成人者や入場制限(主催者・来賓(恩師含む)を最小限にし保護者や家族を制限する。)をすることにより来場できない方のためにライブ配信を行い、来場できない恩師からのビデオメッセージ上映を実施し、感染防止を図る ②成人式ライブ配信・ビデオメッセージ作成業務 ③令和4年阿蘇市成人式に案内予定の、主催者(15名)、来賓(28名)、恩師(約40名)、保護者(約100名)等及び新成人者(約300名)の約483名	R3.11	R4.1	341,000	341,000	・阿蘇市成人式ライブ配信等業務委託 341,000円	会場内の様子を保護者や家族向けにライブ配信を行い、恩師からの祝辞をビデオメッセージとして会場内で上映するなど、式典会場内への入場制限をすることで、新型コロナウイルス感染症拡大の防止や不安解消につなげることができた。
19	学校関係者コロナウイルス感染に伴う消毒等事業	①学校関係者等の抗原検査等及びスクールバス等消毒を行い、感染拡大防止を図る。 ②-1 LAMP法検査 ②-2 スクールバス及び運転手待機場所の消毒 ③地方公共団体	R3.5	R3.5	601,700	601,700	・検査手数料(LAMP法検査) 22,000円×18名=396,000円 ・消毒手数料 205,700円 (中型マイクロバス22,000円×5台 小型マイクロバス16,500円×2台 運転手待機場所11,000円×2箇所 Fogマシーン噴霧・消毒剤及び資材消耗品費22,000円、諸経費18,700円)	スクールバス学校関係者等の検査及びスクールバスの消毒を実施したことにより、児童生徒へ寄り添った支援や不安を抱える児童生徒等学校関係者の不安軽減につなげることができた。
20	防災機能強化事業	①(目的)公共の空間である避難所の衛生環境が保たれ感染機会を削減することを目的とする (効果)災害時に応急的に必要な食糧備蓄などを含む備蓄の保管と、物資調達が困難な物資を備蓄することで、避難所運営の円滑化が図れるだけでなく、衛生環境が保たれ感染リスクが軽減化されることから、コロナ渦の中、災害に強い地域づくりと防災対策の強化につながる ②防災倉庫及び備蓄資材を整備 ③地方公共団体	R3.10	R4.3	10,353,092	10,353,092	・備蓄食料品:735,047円 ・避難所用消耗品:1,507,085円 ・避難所用備品:8,110,960円	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、発災時に公共の空間である避難所の衛生環境が保たれ感染機会を削減が図ることができた。
21	森林・山村多面的機能発揮対策事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響により就業機会が減少した林業従事者が行う里山整備活動に対して助成を行い、雇用の場の確保を図ることや地域の森林の機能低下防止や保全に取り組むことを目的とする ②施業面積に基準単価を掛けて、算出した額に対して補助する ③熊本県森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会	R3.4	R4.3	973,300	973,300	・NPO法人 ふるさと創生:346,800円 ・阿蘇の森を守る会:626,500円 ・里山林保全整備⇒23.53ha実施 ・侵入竹除去・竹林整備⇒7.92ha実施	就業機会が減少した林業従事者が、里山整備活動に対して、雇用の場を確保することができ、地域の森林機能低下防止や保全に取り組むことができた。
22	児童福祉施設における新型コロナウイルス感染拡大防止のための簡易検査キット配布事業	①保育園、認定こども園、放課後児童クラブ、放課後デイサービス利用者及び施設職員に新型コロナウイルス感染防止対策のための簡易検査キットを配布し未然に感染拡大を防止する ②簡易検査キット ③保育園、認定こども園、放課後児童クラブ、放課後デイサービス利用者及び施設職員	R3.9	R4.3	3,872,440	3,872,440	・簡易検査キット:3,872,440円 (350箱)	保育園、認定こども園、放課後児童クラブ、放課後デイサービス利用者及び施設職員に新型コロナウイルス感染防止対策のための簡易検査キットを配布し未然に感染拡大を防止することができた。また、施設におけるクラスターの発生を未然に防止した。

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
23	社会保険料控除証明システム導入事業(国民健康保険事業特別会計繰出)	①納税者の申告時に使用する社会保険料控除証明書(国民健康保険税、介護保険料及び後期高齢者医療保険料)を発行し送付をする。窓口での混雑を回避でき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策になる。 ②社会保険料控除証明システム導入業務委託(国民健康保険事業特別会計に繰り出し、社会保険料控除証明システム導入費用を交付対象経費とする。) ③地方公共団体(対象者:国民健康保険税被保険者 約4,050人 介護保険料被保険者 約9,800人 後期高齢者医療保険料被保険者約5,500人)	R3.10	R4.1	1,650,000	1,650,000	・社会保険料控除証明システム導入委託料:1,650,000円	システム導入前は証明書の窓口交付が平均で773件であったが、R3年度は交付件888件のうち発送件数は720件となり、窓口交付者は減少させることができたので、感染症拡大の防止につながった。
24	新型コロナウイルス経営安定対策資金 利子補給及び保証料助成事業	①資金の利子及び保証料の一部負担をすることで事業者の事業継続を支援する ②借入額の5年間分の利子額、10年間分の保証料を補助する ③阿蘇市内の農業者	R3.4	R4.3	471,418	165,085	・利子補給補助金 329,578円 ・保証料助成金 141,840円	新型コロナウイルスにより経営に影響を受けた農業者の資金繰りについて、利子及び保証料の支援を行ったことにより、負担の軽減が図られた。
25	新型コロナウイルス経営安定対策資金 利子補給及び保証料助成事業(基金)	①資金の利子及び保証料の一部負担をすることで事業者の事業継続を支援する ②借入額の5年間分の利子額、10年間分の保証料を補助する ③阿蘇市内の農業者	R3.4	R8.3	885,000	885,000	・金融対策基金 885,000円	新型コロナウイルスにより経営に影響を受けた農業者の資金繰りについて、利子及び保証料の支援を行ったことにより、負担の軽減が図られた。
26	阿蘇市地域振興緊急対策事業(事業者支援)	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小事業者の雇用維持につなげる ②雇用維持支援金の交付 ③交付対象者:雇用調整助成金を受給している市内事業者	R3.9	R4.1	7,605,000	7,605,000	・阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応雇用維持支援金:雇用調整助成金を受給している市内事業者の従業員数507人×15,000円=7,605,000円 37事業所	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、従業員の雇用維持を図るため、雇用調整助成金または緊急雇用安定助成金を受給した中小企業主等を支援することで雇用の確保につながった。
27	公立学校簡易抗原検査キット購入事業	①児童生徒及び教職員に新型コロナウイルス感染症防止対策のための簡易検査キットを配布し未然に感染拡大を防止する ②簡易抗原検査キットの購入 ③全児童生徒数・教職員数(約2,000人)	R3.9	R3.9	5,867,400	5,867,400	・簡易抗原検査キット 11,000円×(/箱:10個入)×530箱=5,867,400円(消費税、送料込)	検査キットを配布利用したことにより、児童生徒へ寄り添った支援や不安を抱える児童生徒等学校関係者の不安軽減につなげることができた。
28	公立学校live配信カメラ、マイク等購入事業	①新型コロナウイルス感染症防止対策として、学校からの遠隔学習機能の強化が図られる ②live配信カメラ、マイク等の整備 ③公立学校	R3.9	R3.11	1,510,322	1,510,322	・Webカメラ等一式 1,510,322円(79式×19,118円)	配信機材等の導入により、オンライン授業を配信できる体制が一層強化された。
29	学力保障・家庭学習遠隔支援事業	①新型コロナウイルス感染症防止対策として、家庭にインターネット環境がない児童生徒に対し、環境整備(通信費公費負担)を行い、家庭での学びの保障を図る ②阿蘇インターネット光使用料、Wi-Fi使用料 ③家庭でのインターネット不可能児童生徒 150人	R3.9	R4.3	179,135	179,135	・Wi-Fi使用料 179,135円 50世帯/704円/月(5か月)	家庭学習のための通信使用料の負担により、コロナ禍による臨時休業や分散登校、やむを得ず登校できない場合でも、家庭でのオンライン学習等を行うことができた。

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
30	オンライン会議等用機器導入事業	①他団体とオンライン会議を行う際、本市側の職員が複数で参加する場合があります、通常のパソコン画面では表示される資料や相手の動きなどが十分に見えず、結果、職員同士が近接し、感染防止のための対人距離が十分に確保できていない。これを改善するため、大型モニター及び関連機器を導入する。 ②オンライン会議用大型モニター等機器一式に充当する。 ③地方公共団体	R3.12	R4.2	792,000	792,000	・大型モニター等関連機器 198,000円×4=792,000円	大型モニターを整備したことで、複数の職員が適正な感覚を置いて合同でオンライン会議等に参加することが可能となった。
31	テレワーク用タブレット導入事業	①時間外や現場、出張時、新型コロナウイルス関連等の業務調整等が可能となるよう、タブレットを関係職員に配布し、スケジュール調整や業務支援を行うことを目的とする ②タブレット端末及び付属機器一式に充当する。 ③地方公共団体	R4.1	R4.3	854,700	854,700	・タブレット端末及び付属機器 48,180円×15台=722,700円 ・業務用システム設定手数料一式 132,000円	本タブレットを整備したことで、庁舎外にいながらスケジュール調整等が可能となり、感染対策も含めた業務が効率的に進められるようになった。
32	マイナンバー用パソコン設置事業	①PCによるマイナンバーカードを活用した各種手続きにおいて、市役所窓口での混雑を避けるためPCを増設する ②備品購入費 ③696千円(PC4台、173,800円) ④地方公共団体	R4.3	R4.3	695,200	695,200	・ノートパソコン×4台:695,200円	マイナンバー用パソコンの増設により、マイナポイント交付手続き時の混雑を回避することで、新型コロナウイルス感染リスクを軽減することができた。
33	-	-	-	-	-	-	-	-
34	税申告受付時の新型コロナウイルス感染拡大防止	①税申告受付時の密集を避けるために、申告者待合室の確保を行い、感染拡大防止に繋げる ②単棟ハウスリース料 ③地方公共団体(税申告者の3密対策)	R4.2	R4.3	752,813	752,813	・単棟ハウスリース料(4棟×1ヶ月間) 752,813千円	税の申告相談受付において、不特定多数の方が来場され、かつ滞在時間が比較的長い受付時の密集を避けるために、申告者待合室の確保を行い、新型コロナウイルス感染拡大予防に繋げるとともに対策を講じることができた。
35	音声受付発券機購入	①内牧支所の利用者が、窓口で混雑せず、整然と順番待ち出来るように音声受付発券機を購入する。 ②表示機器及び操作機器に係る備品購入費 ③地方公共団体	R4.1	R4.3	4,290,000	4,290,000	発券機タッチパネル 1台×52,000円(税抜。以下同) デスクトップPC 1台×113,000円 プロトバントルター 1個×31,500円 サーマルプリンター 1個×52,000円 無線アクセスポイント 1個×83,000円 無線アクセスポイントスタント 1個×6,000円 POEハブ(POE7ポート) 1個×55,000円 POEハブ(POE9ポート) 1個×35,000円 窓口操作端末 5台×47,000=235,000円 個別表示器 5台×152,000=760,000円 ポール 5本×6,000=30,000円 クランプ 5個×18,000=90,000円 リモート用部材 1個×39,000円 発券機台 1台×167,000円 配線その他部材1式 31,500円 基本NEOソフトウェア1式 1,370,000円 操作機クライアントソフトウェア5台×35,000=175,000円 機器設置・セットアップ費1式 575,000円	多くの来所者が、発券機を活用出来ており、窓口の混雑状況を改善する効果が出ている。

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
36	公用車(波野地区福祉バス)購入事業	①乗車定員が増え車両が大きくなることから感染症予防の3密回避につながる ②10人乗り車両購入代金 ③地方公共団体(波野地区福祉バス利用者)	R3.12	R4.3	4,234,010	4,234,010	・公用車(10人乗りワゴン) 1台:4,234,010円	従来の8人乗りの福祉バスでは、職員がビニールで感染対策用シートを作成していたことから隙間等ができていたが、今回購入した公用車においては、純正の飛沫感染対策セパレーターが設置されていることで、隙間がなくなり飛沫感染のリスクの低減につながっている。 また、ドアの開閉も手動で、乗降用の踏み台を運転手が乗降時に、その都度設置していたが、パワースライドドアに連動した格納式大型ステップを備えたことで、運転手と利用者との接触の機会が大幅に回避できるようになった。 後部座席が横3列、縦2列の8人乗りとなったことで、移動通路幅が確保されたことから、座席配置が容易になり密接して座ることを回避できるようになった。さらに、乗降や車内移動時に利用できる手すりやグリップが取り付けられているため利用者が触れる箇所が限定的となり、消毒や清掃が容易になるため感染リスクが軽減できた。
37	タッチパネル対応端末(窓口申請ツール)購入事業	①コンビニ交付サービスと同じ画面操作を行う端末を整備し利用することで、証明書交付に要する時間を短縮すると共に、コンビニ交付サービスの利用を促進する。これにより窓口における接触機会の削減を図る。 ②備品購入費 ③対象者:阿蘇市のマイナンバーカード所持者 対象施設:市民課、税務課、内牧支所、波野支所	R4.1	R4.3	758,010	758,010	・タッチパネル一体型PC×3個:445,500円 ・Windowsタブレット×1個:126,500円 ・タブレット用ケース×1個:8,580円 ・のぞき見防止フィルター(一体型PC用)×3個:21,450円 ・のぞき見防止フィルター(タブレット用)×1個:4,950円 ・セキュリティワイヤー×3個:11,550円 ・ICカードリーダー×4個:16,720円 ・サーマルプリンター×3個:52,800円 ・プリントサーバー×4個:22,220円 ・タッチペン×4個:8,800円 ・電源タップ(1m)×1個:2,200円 ・電源タップ(3m)×2個:3,960円 ・電源タップ(5m)×1個:2,200円 ・デスクトップパネル×6個:14,520円 ・講演台×1台:15,400円 ・ペンキーパー×3個:660円	マイナンバーカード所持者を当該タッチパネル端末に誘導することで、窓口での証明書交付に要する時間を短縮し、併せてコンビニ交付サービスのメリットを体験してもらうことができた。 また、令和4年度のコンビニ交付サービスにおける証明書発数は5,500件程度(前年度比:約35%増)と予想され、目標として設定した年間発行数5,000件を達成する見込み。
38	午睡ベッド導入事業	①スタッキングベッドを導入し床面から隔離させることで新型コロナウイルス等の感染防止対策を図ることを目的とする ②備品購入費 ③阿蘇市管内の保育園及び認定こども園 合計14園	R3.12	R4.2	9,856,000	9,856,000	・午睡ベッド(スタッキングベッド、収納ワゴン)9,856,000円 ・スタッキングベッド998台 ・収納ワゴン53台	阿蘇市管内の保育園及び認定こども園14園に対しスタッキングベッドを導入し床面から隔離させることで新型コロナウイルス等の感染防止対策を図った。その結果、施設におけるクラスター発生を未然に防止することができた。
39	阿蘇市子育て支援給付金	①コロナ禍において家計が不安定となっている状況の中、子育て世帯の安定した生活支援を目的に児童一人当たり13,000円を給付する。 ②給付金の給付 ③平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた児童を養育する者	R3.12	R4.3	46,488,000	46,488,000	・子育て支援給付金:46,488,000円	コロナ禍において家計が不安定となっている状況の中、子育て世帯の安定した生活支援を目的に児童一人当たり13,000円を給付し経済的負担の軽減を図った。
40	観光施設等コロナウイルス対策事業	①コロナ禍に対応した屋内外の観光施設の運営継続のため、三密回避等をはじめとした感染症対策を徹底し、安心安全な施設整備を行い集客増に繋げる ②屋内外観光施設のコロナウイルス感染防止に係る備品及び消耗品を購入 ③観光施設、観光拠点	R4.1	R4.3	8,450,266	8,450,266	・飛沫防止パネル×70枚:631,400円 ・消毒液(本体)×110本:118,580円 ・消毒液(詰替)×65本:257,400円 ・大型テント×4基:3,080,000円 ・折りたたみ椅子×60脚:613,800円 ・折りたたみ椅子収納台×1台:60,500円 ・ベルトパーテーション×40個:968,000円 ・非接触型体温計×1台:209,000円 ・消毒スタンド×3台:65,406円 ・テント×10基:1,414,600円 ・空気清浄機×17台:1,031,580円	設備投資を行うことで、屋外イベントへの誘導や密集を回避できたことで、新型コロナウイルス感染症の感染予防につながった。

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
41	宿泊施設及び観光施設等事業継続支援金	①新型コロナウイルス感染症の影響で利用が著しく減少している宿泊施設等に対し事業継続のための支援を行う ②宿泊施設等を営む事業者への補助 ③旅館業法、住宅宿泊事業法による営業を行う事業者、体験型の観光メニューを提供する事業者	R3.12	R4.3	21,720,000	21,720,000	・事業継続支援金 160,000円×87施設:13,920,000円 2,800,000円×1施設:2,800,000円 5,000,000円×1施設:5,000,000円	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が著しく減少している宿泊施設をはじめとする観光施設に対し管理運営に必要な経費を支援することで、事業の継続を可能とした。
42	波野小学校網戸取付工事	①新型コロナウイルス感染症対策として、学校管理等の換気機能を高めるために、網戸取付(網戸設備がない職員室、事務室、校長室、保健室の窓)を行う。 ②工事請負費 ③学校児童43名、教職員等12名(R3.10.1)	R4.1	R4.3	448,140	448,140	・網戸取付工事:448,140円	網戸取り付けにより、一層の換気対策を行うことで感染症対策が一層充実できた。
43	情報端末保護フィルム購入事業	①新型コロナウイルスの感染対策での遠隔授業に備え、情報端末(iPad)を持ち帰る機会が増加することにより生じる破損リスクを低減するため。 ②情報端末の保護フィルム購入 ③小学校低学年の児童(約360人)	R3.10	R3.12	532,400	532,400	・iPad用強化ガラスフィルム 242枚×2,200円(税込) =532,400円	用品の整備により、コロナ禍による臨時休業や分散登校で、家庭での利用時に破損リスクが軽減することができた。
44	天板拡張器具購入事業	①新型コロナウイルスの感染対策として、授業活動中において児童生徒の間隔を一定に保つことにより、予防の意識を定着させ、安心して学習ができる環境を整えるため。 ②天板拡張器具の購入 ③全児童生徒数(約1,700人)	R3.12	R4.2	4,145,625	4,145,625	・天板拡張器具 4,145,625円 335セット(セット/5台入)×12,375円=4,145,625円	用品の設置により、一定の距離が保つことで感染症対策が一層充実できた。
45	新型コロナウイルス感染症に伴う公共施設等消毒等事業	①新型コロナウイルス感染症陽性者確認に伴う公共施設等の消毒を行い、感染拡大防止を図る。 ②施設の消毒 ③地方公共団体	R4.1	R4.3	8,811,000	8,811,000	・庁舎内消毒作業業務委託 1,648,900円 ・波野支所庁舎及び保健福祉センター消毒作業業務委託 602,800円 ・学校施設消毒業務委託 6,559,300円	公共施設においてクラスターが発生した場合、窓口業務など、住民サービス低下はもとより、行政事務の大きな停滞に繋がるため、陽性者が確認された場合には、専門業者による消毒作業もを行い、感染拡大防止に努めた。また学校施設も同様に専門業者による消毒作業を行いクラスターの発生を0件にすることができた。
46	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①児童生徒及び教職員に新型コロナウイルス感染症防止対策のための簡易検査キット及び消毒液等を配布し未然に感染拡大を防止する。 ②簡易抗原検査キット等の購入 ③全児童生徒数・教職員数(約2,000人)	R3.9	R4.2	950,000	475,000	・抗原検査キットほか 893点 950,000円	検査キットの配布等を実施したことにより、児童生徒へ寄り添った支援や不安を抱える児童生徒等学校関係者の不安軽減につなげることができた。
47	子ども・子育て支援交付金	(放課後児童クラブ等におけるICT化推進事業、放課後児童クラブ等におけるICT化推進事業を除く) ①新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施していくために必要な経費。 ②システムの導入費、備品購入費 ③放課後児童クラブ2クラブ、保育園9園	R3.4	R4.3	3,750,000	1,250,000	・コロナ対策備品購入等補助金:3,750,000円	新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施していくために必要な消耗品、備品購入に係る経費の補助を行い新型コロナウイルス感染拡大を防止した。

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
48	保育対策総合支援事業費補助金	(保育所等事業効率化推進事業(保育所等におけるICT化推進等事業)) ①保育士の業務負担軽減を図るため保育の周辺業務や補助業務に係るICT等を活用した業務システムの導入費用の補助。 ②システムの導入費 ③公立保育園4園	R3.10	R4.3	3,964,950	1,982,950	・ICTシステム導入:3,964,950円	公立保育園4園の保育士のコロナ禍における業務負担軽減を図るため保育の周辺業務や補助業務に係るICT等を活用した業務システムの導入を行った。そのことにより非接触式による連絡帳や登降園管理を行い感染防止対策を行った。
49	保育対策総合支援事業費補助金	(保育環境改善等事業のうち新型コロナウイルス感染症対策支援事業に限る) ①新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施していくために必要な経費。 ②備品購入費 ③私立保育園、認定こども園、認可外保育所 8施設	R3.4	R4.3	3,584,000	1,792,000	・コロナ対策備品購入補助金:3,584,000円	新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施していくために必要な経費としてコロナ対策に係る備品購入費用の補助を行った。その結果、施設における新型コロナウイルス感染のまん延防止とクラスターの発生を防ぐことができた。
50	疾病予防対策事業費等補助金	(マイナンバー情報連携体制整備事業) ①ロタウイルスワクチンの定期接種化され、これに伴い住民の接種履歴について、マイナンバー制度を利用し、市町村間で確認できる仕組みづくりを構築する。 ②健康管理システムの改修(地方補助負担率:1/3) ③地方公共団体	R3.6	R3.6	158,000	53,000	・ロタウイルス情報連携体制整備事業488,400円(国庫補助基本額158,000円)	マイナンバー情報連携体制整備事業により、ロタウイルスワクチンの定期接種化に伴い、住民の接種履歴について、マイナンバー制度を利用し、市町村間で確認できる仕組みが整備された。
51	疾病予防対策事業費等補助金	(健(検)診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業) ①健診結果等の情報について、国が定める標準的な様式に対応できるようにシステム改修を行う。また個人がマイナポータルを通じて、健(検)診情報を閲覧できる仕組みを構築する。 ②-1 健康管理システムの改修(地方補助負担率:1/2) ②-2 健康管理システムの改修(地方補助負担率:1/3) ③地方公共団体	R4.2	R4.3	1,997,000	782,000	・健診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業に伴う健康管理システム管理改修業務 1,419,000円(様式の標準化整備事業) 2,640,000円(情報連携システム整備事業) ※補助対象外経費:2,062,000円	デジタル社会への対応を見据え個人がマイナポータルを通じて健診情報を閲覧できる仕組みを構築することで、個人が医療機関や健診機関を訪問することなく閲覧できた。
52	-	-	-	-	-	-	-	-

令和3年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

No.	事業名	①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	補助対象事業費 (円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
53	臨時休業に伴う学校給食食材費返還等事業	①臨時休業によりキャンセル等出来なかった学校給食費(食材費)について、購入者である学校給食センターに補助することで保護者の負担軽減に繋がる。 ②キャンセルできなかった購入食材費(転売等により収入が確保できた分は除く。) ③阿蘇学校給食センター・波野学校給食センター	R4.1	R4.3	28,067	28,067	・臨時休業により発生した学校給食の食材費(損失分)補助補助金:28,067円	やむを得ず発生したキャンセル料を補助したことにより、保護者の負担軽減を行うことができた。
54	-	-	-	-	-	-	-	-
合計					299,647,102	280,195,769		